

■2024 年度 事業計画 長沢ベーカリー（生活介護）

はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の制限からも徐々に開放をされ、昨年度は 3 年ぶりに日帰り旅行（小田原）へと出かけることができました。秋以降からはパンの売り上げも右肩上がりに伸びていて、お店にも活気が戻ってきました。年間を通しての行事なども戻ったこともあり、計画も立てやすくなってきています。
事業所の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活支援に加え、パン製造、販売などを通し働くことの充実感を感じてもらえるよう取り組んでいきます。 ・健康面においては看護師とも協力をしながら取り組み、感染対策及び、食品衛生の観点においても消毒、手洗いなどを徹底していきます。 ・パン作業以外にも季節の行事や外出活動などを計画し、楽しめる場面を提供していきます。
事業所運営	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗や外部販売でのパンの売上を工賃として毎月利用者さんへ支払い、7 月、12 月には賞与として還元していきます。 ・2024 年度から岩戸養護学校から女性利用者さんが 1 名増え、17 名となります。 ・事業所内での事故に繋がる事案の事故報告書、ひやりハットを作成、職員間でも共有しながら事故防止に努めます。
利用者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の特性に合った支援を行っていきます。事業所の開所から 10 年が経過し、利用者の皆さんの暮らしにも変化が生まれてきています。家族の支援が必要になったり、短期入所などのサービスの利用を開始したりと、事業所外での生活に目を配ることが増えてきています。 ・パン作業が重きにならないよう、生活支援を重視し、ご自宅など事業所外においても落ち着いた生活ができるよう支援を行っていきます。
今年度重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特性に合った質の高いサービスの提供を目指してきます。 ・販売の安定を継続し、地域の皆さんに喜ばれる店舗を目標にしていきます。
活動計画	<p>パン販売・・武山支援学校・岩戸支援学校、市立支援学校（月 1 回） 北下浦コミュニティセンター（水曜日） 高齢者施設ケアホーム三浦（月 1 回）</p> <p>パン配達・・トライ I、II、ほっとピア、ほっとホット(隔週水曜日) (不定期)児童デイサービスれいんぼー、茜洋舎、他 去年から通信研究所にあるスマートストアと契約。毎週月、木、金曜日。パンの種類は日替わりで配達。 サンカフェ（月曜日・木曜日）</p> <p>絵画教室・・月 1 回</p>

	<p>健康チェック(看護師さん)・・・月1回</p> <p>健康診断(長沢駅近くにある深沢クリニック)・・・年1回</p> <p>日帰り旅行・・・9月～10月に福祉バス(ともしび号)を利用したの旅行を計画。</p> <p>みかん狩り・・・毎年11月初旬で津久井浜農園にて行う。</p> <p>神社参り・・・毎年1月歩いて最寄りの神社へお参り。昼食は蕎麦屋。</p>
<p>作業・販売 計画 (豊かな生活)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パン作業や販売などを行い、それぞれが得意なこと、自信をもって取り組めることを中心に作業を行ってまいります。また“挑戦してみたいこと”に関しても職員と一緒にいたり、補助具などを使うなどして、積極的にチャレンジしてもらい機会を作っていきます。 ・健康的な生活を目標とし、ウォーキングや運動などの活動も提供していきます。
<p>その他 ・防災対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の防災訓練を実施します。避難場所までの移動に関しては皆さん慣れてきていますが、いざとなった時の初動の速さなどは課題となっており、今年度は実際の震災などを想定した避難訓練を計画していきます。 ・災害時避難計画を作成するとともに、災害時備品についても随時在庫確認を行いながら、もしもの時に備えていきます。
<p>利用者の 状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より女性利用者さん1名(岩戸支援学校)が加わり17名でのスタートとなります。 ・今年度も各支援学校の実習生を積極的に受け入れ、定員である20名を目指していきます。
<p>職員の 状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者1名(サービス管理責任者兼務)、常勤(主任)1名、常勤1名、パート職員8名。パンの製造によって職員の勤務時間が伸びてしまう傾向があり、業務効率化やパート職員の増加などを検討していきます。 ・毎朝、夕にミーティングを実施し、確認事項については記録に残し、全スタッフで共有できるように取り組んでいます。経験の浅い職員などもあることから、新しい職員が障害福祉の仕事に魅力を感じ、定着できるよう、また正しい支援の形をしっかりと理解し、職員集団として支援の質とチームワークを高めていけるよう取り組んでいきます。